

11月22日、京都で「ニュース検定」

# 新聞読んで挑もう

ニュースを読み解き、生活や学習に生かすための「ニュース検定」(ニュース時事能力検定試験)が11月22日に京都市中京区の京都新聞文化センターで開かれます。みなさんも京都新聞やジュニアタイムズなど、新聞を読んで身につけたニュースの知識を検定で試してみませんか？

時事問題の知識を身につける基礎になる新聞を、楽しく読むコツについて、NIE(教育に新聞を)活動に長年取り組んできた京都文教大の橋本祥夫准教授(53)が話してくれました。

(古市大)



ニュースを通して地域の未来や課題を考える大切さを語る  
橋本祥夫准教授(宇治市槇島町・京都文教大)

## 京都文教大・橋本准教授「地域考えるきっかけに」

新聞は、大人が読むものでむずかしいと思いませんか。でも、たくさんさんのページをめくって

いけば、おもしろいと思える記事にも出会えます。世の中のことを少しづつわかって、得意な気持ちになれることもあります。

新聞を、写真と見出しを眺めながらめくっていると、1分くらいですべてのページを見ることが出来る。その中から、おもしろそうだなと感じた記事を読んでみましょう。

マンガや興味のあるスポーツ、なんでもいい。一つの記事は、5分もあれば読めるのではないかな。

そして、気になった記事があったら、スクラップブックに貼り付けてみましょう。貼り付けた記事が増えてスクラップブックが分厚くなってくると、こんなにたくさん読んだんだ、と達成感も生まれます。

同じテーマやできごとの記事を毎日スクラップして眺めていると、ものごとの流れが見えてくる。関心のある分野も増

## 学校の勉強も生かせる

来月14日申込締め切り

ニュース検定は、むずかしい方から順に1級から5級まであります。問題は政治、経済、暮らし、社会・環境、国際の5分野からなり、検定日の約1カ月前までのニュースが出題対象になります。

5級が小学校の社会科、4級が小学校社会科や中学校社会科の地理・歴史、3級が中学校社会科の公民で学んだことが生かせるようになっています。ニュース検定の公式サイト <https://www.newskentei.jp/> に過去の検定で出題された問題があるので、参考にしてください。

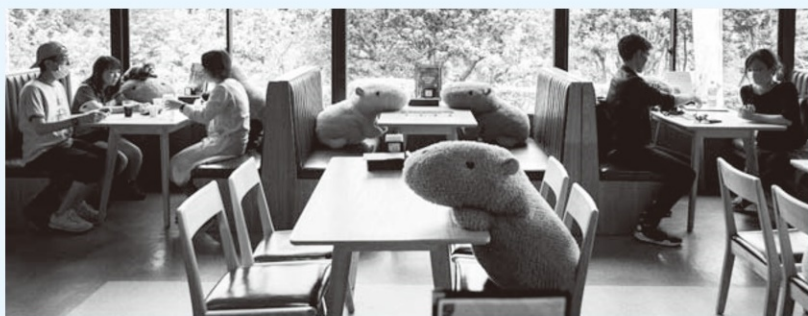
2～5級の検定問題の6割

ほどは、2020年度公式テキスト・問題集(原則19年度末までのニュースで編集)にのっている内容から出題されます。

11月22日の検定は、京都新

聞も主催に加わります。公式サイトや、京都新聞ビル南館8階の文化センターなどで配布中の申込書から申し込むことができます。申込締め切り日は、公式サイトが10月14日、配布中の申込書が10月7日となります。問い合わせは検定協会事務局03(5209)0553。

伊豆シャボテン動物公園(静岡県伊東市)の中にあるレストランは2020年5月、ぬいぐるみ(カピバラなど)の席を設けました=写真。それはなぜだと考えられますか。最も適切な説明を①～④から一つ選びなさい。



- ① レストランの従業員不足をぬいぐるみで補うため。
- ② 売店のぬいぐるみが売れるように宣伝するため。
- ③ 「カピバラと一緒に食事」が全国的なブームになっているため。
- ④ 客同士の間隔を空けて座ってもらうため。

(2020年度検定問題4級より抜粋)

① ㊦ ㊧ ㊨

えていきます。記事を短くまとめたり、感想を話し合うのもいいですね。

新聞記事を毎日読んでみると、住んでいるまちの魅力や課題に気づくこともできます。そして、地域の未来や課題について自分なりの考えを持って

るようになれば、すばらしい。ニュース検定に取り組むことは、そんな力をつけるためのきっかけになると思います。

これからAI(人工知能)が普及してくるでしょう。単純に知識を覚えるだけなら、人間はAI

に負けてしまう。時事の知識を覚えて点数をとればよいという考え方はなく、その先にある時代の流れをつかみ、何が課題か考えるという人間にしかできないことを大切にして、検定に挑んでみてください。